



すずしろ

～開拓・発展・完成～

12月 第8号

令和4年12月23日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

『 2学期を終えて 』

4月から始まった令和4年度も、9カ月が過ぎました。毎年のことながら、月日のたつのは早いもので、それも年を追うごとに加速度的にその早さが増していくように感じられるのは私だけではないと思います。自分が中学生だった頃を思い起こせば、小学生の時よりも俄然、時の流れが速くなったように感じられたことも思い出されます。なぜ、そう感じるのだろうか。皆さんも、ちょっと立ち止まって、思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

さて、この9ヶ月の間に、開四中生は大きく成長しました。

日々の授業はもちろんですが、学校行事への取組も、大きく功を奏しました。新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底することで、諸々の行事も実施が可能となった今年度は、宿泊・校外・校内行事で、生徒が主体となって、仲間と協力しながら活動し、一つずつ成功体験を積み重ねてきました。その中で、自主性・協調性・社会性等の生きる力を伸ばさせるとともに、一人一人が自己肯定感を育んでいます。こうした学校生活には、当然、人間関係の軋轢や、思うようにいかない葛藤も生じます。そのたびに、どうしたらよりよい解決法があるのかを考え、実践し、乗り越えていくことも、中学校時代を過ごす大きな意義となります。

現代において、多様性が大きく取り沙汰されていますが、本来、学校教育の場では、多様性は大前提のものです。生徒一人一人がそれぞれの可能性を最大限に発揮し、学びを深めていく中で、同時に、意見を異にする他者と折衝を付けながら関係を築いていくことで、自分と他者を共に認める心持を育んでいきます。

そのためには、面と向かったコミュニケーションが何より大切なことであると考えます。

今から50年前、1972年のことです。当時発売されるやいなや、一か月で10万台という爆発的な売上を記録したのが「電子式卓上計算機」いわゆる「電卓」です。その性能は、今から見ればたかだか8桁の四則計算でした。それから四半世紀がたって、ウィンドウズの登場に伴って急速に普及したパソコンを取り巻く現象として、会社で机を並べた社員が、直接言葉を交わすことなく、画面上でやり取りをしている様子が衝撃をもって報じられました。それからさらに四半世紀を経た現在では、掌に載るコンピュータを子供たちが日常的に使う時代となりました。

面と向かって会話をすることよりも、SNSを通じたやりとりがごく普通に行われるようになった現在であるからこそ、意図的にフェイス トゥ フェイスを実践することが必要であると、改めて思います。

かつて、夜中に書いた手紙は、朝には破り捨てた方が良いという警句がありました。夜という時間は、何かしら落ち着かない気持ちが募りがちで、感情の昂りに任せて書いた文章は、我に返って読み返すと、自ら赤面してしまう内容であったり言葉であったりすることが多いものであるから、投函する前に処分してしまった方がよいというアドバイスです。現代では、夜中の2時、3時に、心の赴くままにボタンを押して画面に打ち込んだ言葉の羅列を、読み返すこともなくこれまたボタン一つで相手に送りつけてしまうことが往々にしてあるようです。

心身共に成長途上にある中学生が、しっかりと分別を付けることができるようになるために、我々大人

がまず、範を示すことが求められているのではないのでしょうか。

さて、今年度もあと3カ月となりました。新型コロナウイルスについては、自分で判断して行動することが、今までよりもさらに重要となってきました。マスクを外して、飲食をしながら、おしゃべりをするのが感染経路となった事例を、我々はこの2年間で経験してきました。WHOの見解では、エアロゾルによる感染の可能性が高く、空気が滞留する室内では、そのリスクもより高まるとの報道もされています。加えて今年は、すでにインフルエンザの流行期に入り、練馬区での感染が多いとのこと。こうした中であって、周りを見て、安きに流されることなく、より厳しい判断と実践を自ら徹底できるかどうか、自分と、周囲の感染を防ぐ有効な手立です。気を緩めることなく、マスク・消毒・換気の3点を心がけていきましょう。

これから3年生の進路に向けての取組がいよいよ本番を迎えます。1月10日の始業式の4日後には、2年生がスキー移動教室に出発します。3学期の合唱コンクールに向けての練習も始まっています。日々の学校生活に行事や部活動等がすべて滞りなく実施できるようになることを、この2年間、生徒も、保護者も、教職員も、誰もが願ってきました。今年度、諸々の学校教育が実施できたのも、感染状況を見極め、感染拡大防止の徹底を図った上でのことです。決して感染リスクがなくなった訳ではありません。

新型コロナウイルスの発現当初から言い続けてきましたが、やるだけのことをやって感染したらお互い様です。どれだけやっても、感染してしまうことはあるのですから。だからこそ、やることをやらずに感染してしまうことだけは避けたいものです。辛い思いをするのは自分と、周囲の家族や学校の仲間たちです。

冬休みは短く、2週間後にはもう学校が始まります。年末年始の行動が、そのまま新学期に直接の影響を及ぼすことを十分にご留意いただき、ご家庭におかれましても、この冬休み中におけるご家族の活動と、お子様の行動につきまして、感染リスクを高める行為を努めて控えていただきますよう、伏してお願い申し上げます。

始業式に、全員が笑顔で登校してくることを、心より願っております。

末筆ながら、保護者ならびに地域の皆様におかれましては、この一年、本校の教育活動への多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

どうぞよい年をお迎えください。

【お詫びと訂正】

前号で紹介いたしました「第1学年 社会福祉講話」の講師のお名前を間違えて記載してしまいました。お詫び申し上げます。

誤) 中嶋 隆 様 ⇒ 正) 中澤 隆 様

生徒の表彰

- 自分で作る朝ごはんコンクール
- ・アイデア賞 2年女子 1名
- ・奨励賞 2年男子 1名 2年女子 5名